

地域福祉活動 大特集

皆さんは自分の住んでいる地域の福祉活動を知っていますか？
 私たちが安心して地域で暮らすために、地区社協をはじめ民生委員
 児童委員など様々な方が活動を行っています。氷見市内で行われて
 いる地域福祉活動について市社協のエリア窓口をご紹介します。



南條エリア地域窓口 千財

■ 私たちが地域で安心して暮らすために地区社協が活躍しています！ ■

氷見市内の21地区全てに地区社会福祉協議会(地区社協)が組織されています。
 各地区社協では、住民のみなさんの参加と協力によって、地域の特性に合わせた活動をしています。

ふれあい型の活動

子どもから高齢者、障害のある方等、誰でも集える場を設け、参加者の生きがいや孤立予防、地域の一員としての実感につながっています。

- 地区の集会所などに高齢者が集う**シルバー談話室**
- シルバー談話室に会食を加えた**ふれあいランチサービス**
- 未就園児とその保護者を対象とした**地区子育てサークル**
- 地域住民が**集える場・サロンの実施**



サロン活動の様子(布勢地区社協)

身近な集いの場が皆さんの楽しみとなり、住民同士のつながりを育んでいます。

市内全域で4300人以上が救急時や災害時に備えて、いのちのバトンを設置しています。

氷見エリア
地域窓口
開上

個別支援型の活動

ふれあい型の活動に参加できない方や、周りから見て「ちょっと気になる」という方を対象に、声かけや身の回りのちょっとしたサポートを行い、孤立を防いでいます。

- **ケアネット活動** ● **いのちのバトン**の普及・啓発
- **配食サービス**
- 住民の困りごとを身近で受け止める**なんでも相談窓口**
- 困り事の早期発見、相談をつなぐ**地域福祉活動サポーター**の設置
- **福祉・防災マップ**、**避難行動要支援者リスト**の作成、更新

配食サービス
(朝日丘校区社協)



上庄谷エリア地域窓口
藤田



なんでも相談窓口(明和地区社協)

生活支援サービスの開発・実施

ふれあい型の活動や個別支援活動(ケアネット活動)から見えてきた住民一人ひとりの生活の困りごとの中から、必要なサービスを開発、実施しています。

- **乗り合わせ型、個別対応型の外出支援サービス**
(買い物支援・通院等) ▼外出支援サービス(仏生寺地区)



瀬浦エリア地域窓口
小松

外出支援の車内は、サロンのような
雰囲気です。皆さん和気あいあいとおしゃべりを楽しんでいます。

福祉を考える場づくり

誰もが孤立することなく暮らし続けるために、福祉に関わる関係団体が集まり、話し合っています。また、福祉に対する知識や技術を身に付け、解決策を検討し、関係団体間の連携を図っています。

- **各種研修会**
- 地域福祉活動サポーター研修会
- 福祉研修会(福祉防災マップ更新、いのちのバトン更新等)



地域福祉活動サポーターフォローアップ研修(瀬浦エリア)

地区社協の役割とは？

十二町校下社会福祉協議会 富中 郁夫会長

少子高齢化が進み、担い手が減っていくなか、行政や公的サービスにも限界があります。地域のことは地域で考えていかなければなりません。地区社協として、次の世代に福祉をどう意識づけていくかが大事だと思います。将来にわたり、支え上手、支えられ上手な住民・地域を作っていくのが地区社協の役割だと思っています。



■ 民生委員児童委員と地域福祉活動サポーターにインタビュー ■

地区社協の活動は多くの住民の皆さんの参加によって行われています。
 その中でもリーダー的役割を果たしている「民生委員児童委員」と「地域福祉活動サポーター」の活動や役割をご紹介します。

民生委員児童委員とは？

民生委員児童委員 南 佳成さん(女良地区民生委員児童委員協議会 会長)

住民の生活状況を適切に把握し、援助を必要とする人が、その人らしく自立した日常生活ができるよう相談に応じます。援助を必要とする人が福祉サービスを利用できるように、必要な情報を提供しています。その他福祉の推進を図るための活動をしています。

各地区の民生委員児童委員名簿を保存版としてお届けしました。ご活用ください。

日頃から地域の皆さんの見守りや安否確認をしています。女良地区では、高齢者宅にマスクや消毒液、いきいきフラワー活動で育てた花を持って住民ボランティアと共に訪問をしています。訪問時には、しっかりと顔を合わせてお話を聞くようにしています。

その他、見守りや安否確認で把握した地域の情報を、民生委員の定例会等で共有しています。民生委員だけで対応が難しい場合には、自治会等へ相談することで解決できるように動いていきます。



地域福祉活動サポーターとは？

地域福祉活動サポーター 新井 郁夫さん(上庄地区社会福祉協議会 福祉推進員)

地域なんでも相談窓口や地域福祉活動の担い手となり地域住民からの初期相談対応、社会的援護が必要と思われる地域住民の情報を地区社協・自治会・民生委員児童委員等につなぐ役割を担っています。

地区で気になる人がいたら、区長や民生委員児童委員と情報交換をしています。日常生活に加えてときと100歳体操等に参加して、地区の方々と接し、目を向け、耳を傾け、変化に気付くことを意識しています。少しずつ顔が見える関係になり、趣味の畑仕事で外にいる時も声をかけてもらう機会が増え、人生の先輩から色々な知恵をいただいています。

ちょっとした変化に気付いたことを忘れないように、メモを持ち歩いています。「誰かが誰かを気にかける」ことが、地域の福祉につながると感じています。



今回は、地区社協・民生委員児童委員・地域福祉活動サポーターの活動等について紹介しました。
 市社協では安心して暮らすことのできる地域を目指して、地域福祉活動のサポートを行っています。